

第 77 回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会（栃木県）

1 会 期

令和 4 (2022) 年 1 月 24 日（月）～1 月 30 日（日）の 7 日間

(1) スケート競技会

令和 4 (2022) 年 1 月 24 日（月）～1 月 28 日（金）の 5 日間

(2) アイスホッケー競技会

令和 4 (2022) 年 1 月 26 日（水）～1 月 30 日（日）の 5 日間

2 会場地

栃木県日光市

3 日程及び会場

会 場 地	式典・競技		日程							会 場	
			令和4(2022)年1月								
			24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日		
日 光 市	開始式		◎							日光市今市文化会館	
	表彰式 (スケート)						◎			日光市霧降スケートセンター	
	表彰式 (アイスホッケー)								◎		
	ス ケ ー ト	スピード			○	○	○	○			日光市霧降スケートセンター
		フィギュア		○	○	○	午前 ○				栃木県立 日光霧降アイスアリーナ
		ショート トラック		○	午前 ○						今市青少年スポーツセンター 屋内スケートリンク
	アイスホッケー					午後 ○	○	○	○	栃木県立 日光霧降アイスアリーナ	
					○	○	○	○	○	日光市細尾ドームリンク	
					○	○				今市青少年スポーツセンター 屋内スケートリンク	

《凡例 ◎開始式・表彰式 ○：競技日》

4 デモンストレーションスポーツ

会場地	競技	競技会場（予定）
日光市	カーリング	日光市細尾ドームリンク

第 77 回国民体育大会冬季大会スキー競技会
テーマ及びスローガンについて

1 テーマ（愛称）

「美の国あきた鹿角国体 2022」

秋田県で 2 年連続の国体開催となるが、本県の四季折々の美しい自然や長年にわたって育んできた伝統行事など、「美の国」にふさわしい本県の魅力を県内はもとより全国に発信し、全国から訪れる皆さんを歓迎することを継承していきたいという思いが込められています。

2 スローガン（合言葉）

「伝えよう感動 繋げよう絆」

鹿角市を舞台に競い合う選手たちの力や技による熱戦をはじめ、秋田の魅力と心からのおもてなしで国体の感動を伝えるとともに、東日本大震災の更なる復興に繋げていく理念を継続し、秋田から絆をなお一層強めていこうという願いが込められています。

※ 上記テーマの規定書体は、公式ポスターのデザインに合わせて制作し、第 3 回国民体育大会委員会で発表する予定です。

第 77 回国民体育大会 競技会会期の変更について

1. 競技会会期

【変更前】

競技名	種別	会場地	2022 年										
			10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11
			土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
ゴルフ	成年男子	那須塩原市						●	●				
	少年男子							●	●				
	女子							●	●				

【変更後】

競技名	種別	会場地	2022 年										
			10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11
			土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
ゴルフ	成年男子	那須塩原市					●	●	●				
	少年男子						●	●	●				
	女子						●	●	●				

2. 変更理由

ゴルフ競技では、競技前日の公式練習に選手の参加を義務づけ、競技役員を配置して競技日と同様に公式ラウンドを実施することから、会場地市町村と競技団体が協議した結果、競技運営を円滑に行うため、公式練習日を競技会会期に含めることが適切であると判断した。

第77回国民体育大会(栃木県) デモンストレーションスポーツ実施競技一覧

競 技	会場地	競技会場	備 考
アームレスリング	うつのみやし 宇都宮市	栃木県総合文化センター	
インディアカ	さくらし 市	さくら市氏家体育館	
ウォーキング	かぬまし 鹿沼市	鹿沼市内特設ウォーキングコース	
	なすからすやまし 那須烏山市	那須烏山市内特設ウォーキングコース	
	ましこまち 益子町	益子町内特設ウォーキングコース	
エアロビック	なすまち 那須町	那須町スポーツセンター	
オリエンテーリング	やいたし 矢板市	矢板運動公園	
カローリング	たかねざわまち 高根沢町	高根沢町農業者トレーニングセンター	
キッズトライアスロン	なすしおぼらし 那須塩原市	那珂川河畔公園周辺特設コース	※競技会場の変更
キンボールスポーツ	しもつけし 下野市	下野市石橋体育センター	
クリケット	さのし 佐野市	佐野市国際クリケット場	
さいかつぼーる	なすしおぼらし 那須塩原市	にしなすの運動公園体育館	
3B体操	なかがわまち 那珂川町	那珂川町総合体育館	
スポーツウエルネス吹矢	あしかがし 足利市	足利市民体育館	
スポーツチャンバラ	おおたわらし 大田原市	栃木県立県北体育館	
スマートフェンシング	かみのかわまち 上三川町	上三川町体育センター	※競技名の変更
3x3	うつのみやし 宇都宮市	オリオンスクエア	
ソフトバレーボール	もかし 真岡市	真岡市総合体育館	
ターゲット・バードゴルフ	みぶまち 壬生町	壬生町総合公園	
タグラグビー	とちぎし 栃木市	栃木市総合運動公園陸上競技場	
ダンススポーツ	おおたわらし 大田原市	栃木県立県北体育館	
ドッジボール	さのし 佐野市	佐野市アリーナたぬま	
長ぐつアイスホッケー	にっこうし 日光市	栃木県立日光霧降アイスアリーナ	
バウンドテニス	のぎまち 野木町	野木町立野木中学校体育館	
パークゴルフ	あしかがし 足利市	足利市借宿緑地パークゴルフ場	
フォークダンス	おやまし 小山市	栃木県立県南体育館	
フットサル	うつのみやし 宇都宮市	宇都宮市清原体育館	
フットベースボール	とちぎし 栃木市	栃木市総合運動公園多目的グラウンド	
フライングディスク	いちかいまち 市貝町	城見ヶ丘運動公園	
ふれあいトランポリン	もてぎまち 茂木町	茂木町民体育館	
ペタンク	たかねざわまち 高根沢町	高根沢町町民広場	
ママさんバレーボール	はがまち 芳賀町	芳賀町第二体育館	
リレーマラソン	おおたわらし 大田原市	美原公園陸上競技場	
31競技	24市町	33会場	

【3方針】

- 誰も：誰もがスポーツ文化を豊かに享受できる環境の創出
- 多様：スポーツ享受の多様化の促進
- 連携：スポーツを核にした連携・協働の促進

【進捗評価基準】

- S:当初の計画を超える進展がある。
- A:当初の計画に沿って概ね順調に進展している。
- B:当初の計画より遅れている。
- C:当初の計画より大幅に遅れており、目標の変更を検討する必要がある。
- D:未着手である。
- 完了:作業完了

【2022年度の目標に対する達成度評価基準】

- 5:はるかに上回っている(120%以上)
- 4:達成している(100%以上120%未満)
- 3:やや下回っている(80%以上100%未満)
- 2:下回っている(60%以上80%未満)
- 1:かなり下回っている(60%未満)
- －:未着手のため評価なし

No.	大	中	小	具体的施策	3方針	新規・継続	所管委員会	2018年度の取組・達成状況・課題	2019年度の取組・達成状況・課題	2020年度の取組	2021年度以降の取組予定	進捗評価						達成度評価					
												2018年		2019年		2020年		2018年		2019年		2020年	
												上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
1				①国民体育大会(以下「国体」という。)に関連する諸事業を通して、「21世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」で示した「21世紀の国体の目指す方向性(コンセプト)」について、多くの人々の理解と賛同が得られる運動として「国体ムーブメント」を積極的に展開する。	誰も	継続	国民体育大会委員会	・実施規模等検討ワーキンググループ等を通して、実施競技団体等と協力して「国体ムーブメント」を展開しているが、開催県との連携は今後の課題である。	・第4期実施競技(2027～2030年に開催される大会の実施競技)選定ワーキンググループ等にて、国体の目指す方向性等、国体ムーブメントの施策を確認した。	・第4期実施競技(2027～2030年に開催される大会の実施競技)を選定し、国体の目指す方向性等、国体ムーブメントの施策を示す。	・第4期実施競技(2027～2030年に開催される大会の実施競技)の選定結果を踏まえ検討する。	B	B	B	A	-	-	2	3	3	3	-	-
2				②中央競技団体と連携して、国体開催地において、国体開催前後に各競技の全国規模の大会を開催する等、開催県等の実情に応じた取組を推進し、国体会場となる施設の有効利用を目指す。	—	継続	国民体育大会委員会	・競技運営部会において、中央競技団体に対し、国体会場となる施設の有効利用について協力を依頼した。	・中央競技団体に対して取組状況の調査には至らなかった。 ・競技運営部会において、中央競技団体に対し、国体会場となる施設の有効利用について、協力を依頼した。	・第4期実施競技選定と併せて、中央競技団体に対する取組状況を調査・集計し、引き続き、中央競技団体に対し、国体会場となる施設の有効利用について、協力を依頼する。	・同左	B	B	B	B	-	-	1	1	1	1	-	-
3				③加盟団体が行うアスリートの発掘・育成・強化を通じて、広く社会に貢献できる人材が育成されるよう支援する。	—	継続	国民体育大会委員会	・加盟団体が行うアスリートの発掘・育成・強化策について、情報収集の方法等を検討したが、実施には至らなかった。	・加盟団体が行うアスリートの発掘・育成・強化策について情報を収集するとともに、具体的な支援策を検討するについては、第4期実施競技選定として実施することとし、年度内の実施には至らなかった。	・第4期実施競技選定と併せて、加盟団体が行うアスリートの発掘・育成・強化策について情報を収集するとともに、具体的な支援策を検討する。	・同左	C	C	C	B	-	-	1	1	1	1	-	-
4				競技会の充実・活性化を図るため、少年種別(ジュニア世代)の充実、女子種別の充実、選手兼任監督の解消、各競技参加人数の適正化、参加県数の適正化の観点から、各競技会の実施規模(参加人数等)について検討し、実施規模等の適正化を図る。	誰も	継続	・国民体育大会委員会 ・女性スポーツ委員会	・実施規模等検討ワーキンググループにて、中央競技団体に意向調査を実施するなど、実施規模等の適正化を図るため実態把握を行い、課題のある競技団体と個別の調整を行った。	・実施規模等検討ワーキンググループでの検討課題について、第4期実施競技選定ワーキンググループで取り組んでいる。	・第4期実施競技(2027～2030年に開催される大会の実施競技)の選定により、実施規模の適正化を図る。	・同左	A	A	A	A	-	-	2	2	3	3	-	-
5				①スポーツ基本法の改正に準じた大会名称変更(本案案:国民スポーツ大会)への対応に伴い、大会の認知度が90%となるよう周知を図る。	誰も	継続	国民体育大会委員会	・スポーツ基本法の改正に基づき新たな大会名称が決定した際は、当協会各種広報物等で周知しているが、開催県と連携は今後の課題である。 ・大会の認知度調査を行った。	・当協会各種広報物等で大会を周知するとともに、開催県と連携し、記者発表を実施するなど認知度向上に取り組んだ。	・当協会各種広報物等で大会名称の変更を周知するとともに、開催県と連携して認知度向上に取り組む。	・同左	B	B	B	B	-	-	1	2	2	2	-	-
6				②SNS等を活用した積極的な情報発信、トップアスリート等によるPRイベントの開催を検討する等、広報活動の一層の充実を図ることにより、大会ブランド価値の向上を目指す。	—	継続	・国民体育大会委員会 ・ブランド戦略委員会	【国民体育大会委員会】 ・本大会開催前に有名アスリート等が出席する大会記者発表を開催し、大会のPRを行った。 ・国体専用ウェブサイト(#国体fan)および当協会ホームページの情報を充実させ、大会のPRを図った。 【ブランド戦略委員会】 ・SNSを活用した国体のPRを、前年度に引き続き行うこととしていたが、当協会公式SNS開設を受け、2019年度以降に当該アカウントからPRしていくこととした。 ・国体fanの既存コンテンツの階層やアイコンを整理することにより、より必要な情報を入手しやすいページに改善した。	【国民体育大会委員会】 ・本大会開催前に有名アスリート等が出席する大会記者発表を開催し、大会のPRを行った。 ・SNS(FB、Twitter)を活用し、大会情報の拡散を図った。 【ブランド戦略委員会】 ・国体の認知度を上げたり、国体への興味・関心を誘発したりすることに繋がるようなメディア向けPRレター及びオウンドメディアで発信した。 ・国体のインターネット配信の仕組みを構築する取り組みと連動し、国体fanのコンテンツ内容や見せ方、誘引施策についても検討している。	【国民体育大会委員会】 ・本大会開催前に有名アスリート等が出席する大会記者発表を開催し、大会のPRを行う。 ・SNS(FB、Twitter)を活用し、大会情報の拡散を図る。 【ブランド戦略委員会】 ・前年に続き、「JSPO TV」にて国体におけるインターネット配信を実施する。	【国民体育大会委員会】 ・同左 【ブランド戦略委員会】 ・JSPOが実施する各種総合大会のリブランディングを図る中で国体(JAPAN GAMES)のブランド価値向上を目指す。	A	A	S	A	-	-	1	1	2	3	-	-
7				③国体協賛制度の充実、放映権の有効活用等、マーケティング活動を積極的に展開することにより、協賛金収入等が2017年度比増となることを目指す。	連携	継続	・国民体育大会委員会 ・財務委員会 ・ブランド戦略委員会	【国民体育大会委員会】 ・放映権の活用について検討し、現行の放映権の課題を整理した。 【財務委員会／ブランド戦略委員会】 ・国体に対する協賛金が増となるよう、現行制度における協賛メリットの検討やスポンサー獲得・継続のため働きかけを行った結果、期中に+αとして1社と次年度国体協賛新規契約を取り交わしたことに加え、事業ブランド価値向上を目的に、国体インターネット配信に関心を持つ事業者と開催県を交え具体的な展開に向けた協議を行った。	【国民体育大会委員会】 ・現行の放映権の在り方を見直し、新たに放映権の活用を行った。 【財務委員会／ブランド戦略委員会】 ・放映権の整理、インターネット配信の活用を図り、国体の高価値化を進めるとともに、都道府県、市町村の権利を整理し、協賛メリットが意識出来る制度を整える。協賛社については、2017年度の5社から、2社増の7社+開催県が集めた10社を併せ17社となり大幅増となった。	【国民体育大会委員会】 ・放映権の活用を行う。 【財務委員会／ブランド戦略委員会】 ・認知度、ブランド価値の向上を図ることで、協賛社の国体に対するロイヤリティを高め、既存協賛社の継続はもとより新規の協賛社を増やし協賛金収入等を前年度比増とする。	【国民体育大会委員会】 ・同左 【ブランド戦略委員会】 ・JAPAN GAMESのブランド価値向上の取り組みの中で、協賛社の更なるメリットを創出し、多くの企業協賛を得られるよう制度の充実を図る	B	B	A	A	-	-	1	2	3	4	-	-
8				④ユニフォーム規程を改定し、ユニフォーム協賛を導入することにより、都道府県体育(スポーツ)協会(以下「都道府県体協」という。)等関係機関・団体における財源確保に貢献する。	連携	継続	・国民体育大会委員会 ・財務委員会	【国民体育大会委員会】 ・ユニフォーム協賛の導入に向け、ユニフォーム規程の改定に向けた協議を当協会内で行ったが、国体協賛制度との調整において課題が残っている。 【財務委員会】 ・現在の協賛制度と照らし合わせユニフォーム協賛について国体委員会にて検討する。	【国民体育大会委員会】 ・ユニフォーム協賛の導入に当たっての課題の整理を行った。	【国民体育大会委員会】 ・ユニフォーム規程の改定を行う。	【国民体育大会委員会】 ・前年度の状況を踏まえ対応を検討する。	B	C	C	C	-	-	1	1	1	1	-	-

9			①日本スポーツ振興センター(以下「JSC」という。)に対し「競技会開催支援事業」および「スポーツ施設等整備事業」の各助成事業の継続実施および拡充に向けた要請を行う等、開催県の経費負担軽減に取り組む。	—	継続	国民体育大会委員会	・JSCに対して、toto助成事業の充実・拡充について、個別の事案についての要望は行ったが、助成制度の改定には至らなかった。	・JSCに対してtoto助成事業の充実・拡充の要請を行ったが、開催県の経費負担軽減には至らなかった。	・引き続き、JSCに対しtoto助成事業の拡充の要請を行うとともに、中央競技団体と連携し、開催県の経費負担軽減につながる方を協議する。	・同左		B	C	C	C	—	—	1	1	1	1	—	—
10			②冬季競技会を開催可能な施設を有している都道府県の協力を得て、開催県のローテーション化の確立を図る等、安定的な開催(開催5年前までに開催依頼、3年前までに開催地が決定する状態)に向けて取り組む。	—	継続	国民体育大会委員会	・第77回以降の冬季大会開催地について、スケート・アイスホッケー競技会の開催地が決定したが、スキー競技会および第78回以降の開催地については、決定には至っていない。	・引き続き、開催可能都道府県と調整し、第77回大会までの開催地は決定したが、第78回冬季大会の開催要請には至らなかった。	・開催3年前までの開催地決定を目指すとともに、中央競技団体と連携し、冬季大会の在り方を検討する。	・同左		B	C	B	C	—	—	1	1	2	2	—	—
11			①国体協賛企業の拡充を図るとともに、本大会参加都道府県および正式競技実施団体の負担金等の導入について検討することにより、ブロック大会、本大会開催県の負担軽減を図る。	連携	継続	・国民体育大会委員会 ・財務委員会	・放映権料等、新たな財源について検討したが、具体的な財源確保に至らなかった。	・放映権料等、新たな財源を確保した。 ・開催県の負担軽減策を検討するとともに、施設基準や競技会日程の見直し等、中央競技団体と個別に調整を行った。	・放映権料を確保する。 ・開催県の負担軽減策を検討するとともに、中央競技団体と個別に調整を行う。	・同左		C	C	B	B	—	—	1	1	2	2	—	—
12			②開催県の要望を踏まえ、県外開催を含めた既存施設の活用、施設基準の見直し等、大会運営の簡素・効率化に取り組む。	—	継続	国民体育大会委員会	・個々の事案について、開催県と連携し対応した。	・具体的な対応策を検討し、一部競技について中央競技団体と施設基準の見直し等を調整している。加盟団体に対して意向調査には至らなかった。	・大会運営の簡素・効率化に向けた運営については、第4期実施競技選定と併せて、中央競技団体の情報収集を行う。 ・既存施設の活用、施設基準の見直しについては、個別に調整を行う。	・同左		B	B	B	B	—	—	1	2	2	2	—	—
13			国体が2034年(予定)に3巡目開催を迎えるにあたり、2022年までにプロジェクトを設置し、情報収集と大会の在り方の見直しを行うことにより、国体の継続的、安定的な開催を実現する。	—	新規	国民体育大会委員会	・プロジェクト設置に向け、今後、国体委員会等において意見交換を行った。	・プロジェクト設置に向けたワーキンググループを設置し、検討を開始した。	・ワーキンググループにおいて検討を行う。	・プロジェクトを設置し、ワーキンググループにおいて収集された情報をもとに、具体的な検討を行う。		B	A	B	A	—	—	1	3	3	3	—	—
14			国体においてドーピング検査を実施することにより、国体に参加する選手、指導者、スタッフおよびジュニア世代の競技者に対するアンチ・ドーピング教育・情報提供・啓発活動を推進し、国内のアンチ・ドーピング活動の拡充に資することを目指す。	—	新規	・国民体育大会委員会 ・アンチ・ドーピング委員会	【国民体育大会委員会】 ・大会においてドーピング検査を実施し、各競技会場でアンチ・ドーピング活動を実施することにより、参加者に対してドーピングに対する意識啓発を行った。 【アンチ・ドーピング委員会】 ・まずは委員会内で、国内外におけるアンチ・ドーピング活動について、検証的な意見交換と情報共有を図った。	【国民体育大会委員会】 ・日本スポーツフェアネス推進機構、日本アンチ・ドーピング機構と連携し、ドーピング検査を実施するとともに、都道府県体育・スポーツ協会対象の研修会等を通じて、情報提供・啓発を行った。 【アンチ・ドーピング委員会】 ・国内外の動向と、国体の現状を分析しながら、今後のJSPO内におけるアンチ・ドーピング政策を検討するため、3月に委員会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス対策として延期とした。このため、具体的な検討には至っていない。	【国民体育大会委員会】 ・日本スポーツフェアネス推進機構、日本アンチ・ドーピング機構と連携し、ドーピング検査を実施するとともに、参加者への啓発を図る。 【アンチ・ドーピング委員会】 ・国内外の動向と、国体の現状を分析しながら、今後のJSPO内におけるアンチ・ドーピング政策を検討する。	【国民体育大会委員会】 ・同左 同左		A	A	A	A	—	—	3	3	3	3	—	—
15			都道府県体協や中央競技団体等が行う将来性豊かなアスリートの発掘・育成・強化を、スポーツ庁、JOC、日本パラリンピック委員会、JSC等と連携・協力して支援し、国体を通じたジュニアアスリートの競技力の向上を図るとともに、障がいの有無に依らず、全てのジュニアアスリートに自分の可能性に挑戦する機会を提供する。	誰も	新規	国民体育大会委員会	・JSC委託事業である「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」において、2期生となるオリンピック競技6競技、パラリンピック競技5競技のタレントを発掘するため、全国に募集をかけ、エントリー(第1ステージ)から測定会(第2ステージ)の実施を経て、58名が拠点県合宿(第3ステージ)に進出した。 *第1ステージのエントリー数:1,628名(オリ:1,496名 パラ:132名)◎目標達成率54.3% ・昨年発掘した1期生においては、10月末をもって検証が終了し、49名中12名が競技団体の強化・育成コースに選出された。*NF/バスウェイ対象者12名◎目標達成率100%	オリンピック競技5競技、パラリンピック競技6競技を対象に3期生となるタレントを発掘するため、全国に募集をかけ、エントリー(第1ステージ)から測定会(第2ステージ)の実施を経て、69名が検証合宿(第3ステージ)に進出した。 *第1ステージのエントリー数:874名(オリ765名、パラ109名)◎目標達成率29.1% ・昨年発掘した2期生においては、10月末をもって検証が終了し、56名中10名が競技団体の強化・育成コースに選出された。*NF/バスウェイ対象者10名◎目標達成率100% ・2019年度から第3ステージ(検証合宿)の実施主体を都道府県体育・スポーツ協会から中央競技団体に変更したことで、合宿トレーニング等の効果が高まり、より高レベルな指導体制を構築することができた。	・2019年度に発掘した3期生の検証を継続して実施するとともに、新たに4期生を募集し、本プロジェクトの認知度向上を目指す。	同左		A	A	A	A	—	—	2	2	2	2	—	—
16			国体参加申込システムを改修し、公認スポーツ指導者管理システムとの連携を図る等により、都道府県競技団体の国体に向けた諸活動を支援する。	連携	新規	・国民体育大会委員会 ・ブランド戦略委員会	【国民体育大会委員会】 ・国体参加申込システムの改修に取り組み、予定通りのスケジュールで進捗した。 【ブランド戦略委員会】 ・新システムの仕様を他事業にも活用できる基本構想の下作成し、構築業者を選定した。新システムの基幹部分については情報システム担当部門が主体的に関わっている。	【国民体育大会委員会／ブランド戦略委員会】 ・国体参加申込システム改修を行い、8月末で完成、第75回冬季大会から稼働を開始した。	【国民体育大会委員会】 ・改修後国体参加申込システムを安定的に稼働させる。	【国民体育大会委員会】 ・同左 【ブランド戦略委員会】 ・指導者登録データベースのみならず、JSPOの持つ情報資産を統合し、国体に限らず広く加盟団体の業務支援を行える体制の構築を行う		A	A	A	A	—	—	3	3	4	4	—	—
82			⑤全国高等学校体育連盟、日本中学校体育連盟等の学校関係団体と連携し、協力体制の確立を図ることで、それぞれが主催する総合スポーツ大会の安定的開催、学校運動部活動に関わる教員や外部指導員等における公認スポーツ指導者資格取得の促進、学校運動部活動における公認スポーツ指導者の活用、体罰等の不適切な指導の根絶等、持続可能な学校運動部活動の実現を図る。	連携	継続	・倫理・コンプライアンス委員会 ・国民体育大会委員会 ・指導者育成委員会	【国民体育大会委員会】 ・ジュニアアスリート育成連絡会議を開催し、それぞれの主催大会に関して情報共有し、主催大会の開催スケジュール等を調整した。 【指導者育成委員会】 No.79、80で対応 【倫理委員会】 ・加盟団体事務局長会議において、暴力相談窓口の提携弁護士により、「暴力相談への対応」をテーマに講義を行い、加盟団体の対応力向上を図った。 ・加盟団体を対象に、インテグリティに関する研修会を実施し、スポーツ団体としての社会的責任や倫理観について再度周知し、自覚を促した。 ・第一東京弁護士会総合法律研究所スポーツ法研究部会による研修会を加盟団体担当者等に周知し、研鑽の機会を提供した。なお、スポーツ関係者150名以上の参加が得られた。	【国民体育大会委員会】 ・同左 【指導者育成委員会】 学校運動部活動の指導にあたる者が公認スポーツ指導者資格を取得するよう、関係機関・団体と協議を行う予定であったが、実施できなかった。 【倫理・コンプライアンス委員会】 ・加盟団体事務局長会議において、暴力相談窓口の提携弁護士により、暴力相談窓口に寄せられた暴力行為等の内容紹介や、その処分事例等を周知し、暴力行為等の根絶に寄与した。 ・スポーツ団体における暴力行為等への適切な対応方法等について、事例を取りまとめるまでには至らなかった。	【国民体育大会委員会】 ・同左 【指導者育成委員会】 「公認スポーツ指導者マッチング」サイトの拡充を図り、公認スポーツ指導者の活用を図るとともに、当協会主催養成講習会を教員免許状更新講習の対象講習とすることにより教員の資格取得を促進させる。 【倫理・コンプライアンス委員会】 ・スポーツ団体としての社会的責任や倫理観についての自覚を促すために、加盟団体を対象にインテグリティに関する研修会を実施する。 ・暴力行為等対応体制と関連規程等について、加盟団体等と連携を強化し協働するための見直しに必要な検証を行う。	【国民体育大会委員会・指導者育成委員会】 同左 【倫理・コンプライアンス委員会】 ・2020年度の取組による成果を踏まえ、より効果的・効率的な取組を行う。		A	A	A	A	—	—	2	2	2	2	—	—

110			③日本アンチ・ドーピング機構(以下「JADA」という。)、日本薬剤師会、都道府県体協および中央競技団体や教育機関と連携し、アンチ・ドーピングに関する教育プログラムを推進するとともに、都道府県体協における教育・啓発の支援等を継続的に行う。	連携	継続	・アンチ・ドーピング委員会 ・国民体育大会委員会 ・スポーツ医・科学委員会	【アンチ・ドーピング委員会】 ・まずは委員会内で、国内外におけるアンチ・ドーピング活動について、検証的な意見交換と情報共有を図った。 【国民体育大会委員会】 ・JADAと連携し、国体競技会場において実施するアウトリーチプログラムを通じて、教育・啓発を行った。 【スポーツ医・科学委員会】 ・国体選手、ジュニア選手、指導者、ドクターなどの関係者に対しアンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動を行った。	【アンチ・ドーピング委員会】 ・国内外の動向と、国体の現状を分析しながら、今後のJSP0内におけるアンチ・ドーピング政策を検討するため、3月に委員会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス対策として延期とした。このため、具体的な検討には至っていない。 【国民体育大会委員会】 ・同左 【スポーツ医・科学委員会】 ・国体選手、ジュニア選手、指導者、ドクターなどの関係者に対しアンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動を行った。	【アンチ・ドーピング委員会】 ・国内外の動向と、国体の現状を分析しながら、今後のJSP0内におけるアンチ・ドーピング政策を検討する 【国民体育大会委員会】 ・同左 【スポーツ医・科学委員会】 ・国体選手、ジュニア選手、指導者、ドクターなどの関係者に対しアンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動を行う。 ・学生アスリートを対象に、アンチ・ドーピングに関わる知識に関する実態調査を行い、学生アスリートにおけるアンチ・ドーピングに対する学習意欲や、個人競技水準、知識量との関連性を明らかにするプロジェクトを設置する。	【アンチ・ドーピング委員会】 同左 【国民体育大会委員会】 ・同左 【スポーツ医・科学委員会】 ・国体選手、ジュニア選手、指導者、ドクターなどの関係者に対しアンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動を行う。 ・学生アスリートを対象に、アンチ・ドーピングに関わる知識に関する実態調査を行い、学生アスリートにおけるアンチ・ドーピングに対する学習意欲や、個人競技水準、知識量との関連性を明らかにする。	A	A	A	A	-	-	3	3	3	3	-	-
111			④中央競技団体、国立スポーツ科学センター(以下「JISS」という。)およびスポーツ安全協会等と連携し、スポーツ現場における外傷・障害の発生状況に関する実態調査を行い、競技種目別の予防プログラムの作成や、効果検証、情報提供等を継続的に行う。	連携	継続	・アンチ・ドーピング委員会 ・国民体育大会委員会 ・スポーツ医・科学委員会	【国民体育大会委員会】 ・国体傷害補償制度を通じて、傷害発生の実態を把握した。 【スポーツ医・科学委員会】 ・スポーツ現場における事故事例とそれ以外の統計データの統合や、他競技を対象とする外傷・障害予防プログラムの作成に向けた議論を開始した。	【国民体育大会委員会】 国体傷害補償制度を通じて、傷害発生の実態を把握した。 【スポーツ医・科学委員会】 ・スポーツ安全協会等と連携し、スポーツ現場における事故事例とそれ以外の統計データの統合や、他競技を対象とする外傷・障害予防プログラムを作成するプロジェクト研究の設置に向けた議論を行い、2020年度から実施することを決定した。	【国民体育大会委員会】 ・同左 【スポーツ医・科学委員会】 ・スポーツ現場における事故事例に基づくスポーツ外傷統計データの作成や、競技種目別の外傷・障害予防プログラムの作成に関するプロジェクト研究の設置する。	【国民体育大会委員会】 ・同左 【スポーツ医・科学委員会】 ・スポーツ現場における事故事例に基づくスポーツ外傷統計データの作成や、競技種目別の外傷・障害予防プログラムの作成に関するプロジェクト研究を推進する。	B	B	B	B	-	-	1	2	2	2	-	-
116			本会が保有し、事業毎(公認スポーツ指導者、スポーツ少年団、競技者エントリー履歴)に分けて管理している情報を一元化し、本会のステークホルダーに関する情報を統合するとともに、これらの情報を情報システムの利用者等との間で双方向管理できる環境を整え、情報の確度が高く使いやすいシステムの構築を目指す。	連携	継続	・国民体育大会委員会 ・日本スポーツ少年団 ・日本スポーツマスターズ委員会 ・指導者育成委員会 ・ブランド戦略委員会	【国民体育大会委員会】 ・今後の情報システムの一元化を見据えて、国体参加申込システムの改修に取り組んだ。 【ブランド戦略委員会】 ・2016年度に作成した当協会統合システムの将来像に沿って、以下のシステム構築に着手した。 ・各事業の情報を統合したDB(SHDB)構築(2019年11月完成予定) ・国体参加申込システムの改修作業(2019年11月完成予定) ・システム統合を見据えての少年団登録システムの要件定義(2019年3月完了) 【指導者育成専門委員会】 ・システムの構築に向け関連部署との協議を行った。	【国民体育大会委員会】 ・同左 【ブランド戦略委員会】 ・2018年度に行った要件定義を踏まえ、SHDBと関連したシステム少年団登録システムの構築に着手した。2020年度登録に合わせて稼働予定。 【指導者育成委員会】 ・システムの構築に向け関連部署との協議を行った。 【スポーツ少年団】 ・システムの統合を前提として、新たな登録規程に合わせたシステムの構築を進めている。	【国民体育大会委員会】 ・改修後のシステム(新システム)を安定的に運用させる。 【ブランド戦略委員会】 ・着手済のシステムに加え、さらに1事業以上のシステム構築を検討する。 ・SHDBを活用したスポーツの価値向上、JSP0ブランドの向上策を検討する。 【指導者育成委員会】 ・前年に引き続き対応する。	【指導者育成委員会】 ・同左	S	S	A	A	-	-	2	2	3	3	-	-
162			②JADA、日本スポーツ仲裁機構等との連携を促進することにより、スポーツ・インテグリティを守り、高める機運を一層醸成し、フェアプレー精神の浸透を図る。	連携	新規	・アンチ・ドーピング委員会 ・国民体育大会委員会 ・スポーツ医・科学委員会	【国民体育大会委員会】 ・JADA、日本スポーツ仲裁機構と連携し、加盟団体に対して、アンチ・ドーピングおよびスポーツ仲裁に関する情報提供を行った。 【アンチ・ドーピング委員会】 ・まずは委員会内で、国内外におけるアンチ・ドーピング活動について、検証的な意見交換と情報共有を図った。	【国民体育大会委員会】 ・日本スポーツフェアネス推進機構、JADA、日本スポーツ仲裁機構と連携し、加盟団体に対して、アンチ・ドーピングおよびスポーツ仲裁に関する情報提供を行った。 【アンチ・ドーピング委員会】 ・国内外の動向と、国体の現状を分析しながら、今後のJSP0内におけるアンチ・ドーピング政策を検討するため、3月に委員会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス対策として延期とした。このため、具体的な検討には至っていない。	【国民体育大会委員会】 ・日本スポーツフェアネス推進機構、JADA、日本スポーツ仲裁機構と連携し、加盟団体に対して、アンチ・ドーピングおよびスポーツ仲裁に関する情報提供を行う。 【アンチ・ドーピング委員会】 ・国内外の動向と、国体の現状を分析しながら、今後のJSP0内におけるアンチ・ドーピング政策を検討する	同左	A	A	A	A	-	-	1	1	1	2	-	-

第78回国民スポーツ大会実施競技一覧

式典	会場地	式典会場
総合開・閉会式	佐賀市	SAGAサンライズパーク

【1. 正式競技】

No.	競技		種別	会場地	競技会場
1	陸上競技		全種別	佐賀市	SAGAサンライズパーク
2	水泳	競泳	全種別	佐賀市	SAGAサンライズパーク
		飛込	全種別		SAGAサンライズパーク
		水球	少年男子 女子		SAGAサンライズパーク
		アーティスティックスイミング	少年女子		SAGAサンライズパーク
		オープンウォータースイミング	男子 女子	伊万里市	伊万里人工海浜公園(イマリンビーチ)
3	サッカー		成年女子 少年女子	佐賀市	SAGAサンライズパーク 佐賀市健康運動センター
			少年男子	鳥栖市	鳥栖スタジアム(駅前不動産スタジアム) 鳥栖スタジアム北部グラウンド
4	テニス		全種別	佐賀市	SAGAサンライズパーク 佐賀県立森林公園テニスコート
5	ボート		全種別	佐賀市	富士しゃくなげ湖ボート・カヌー競技施設(仮称)
6	ホッケー		成年男子 成年女子	伊万里市	伊万里市国見台球技場
			少年男子 少年女子		佐賀県立伊万里実業高等学校商業キャンパス運動場
7	バレーボール		成年男子	小城市	小城市芦刈文化体育館
			成年女子	佐賀市	SAGAサンライズパーク
			少年男子	吉野ヶ里町	吉野ヶ里町文化体育館(仮称)
				みやき町	みやき町中原体育館
	少年女子	鳥栖市	鳥栖市民体育館		
		バレーボール	ビーチバレーボール	少年男子 少年女子	伊万里市
8	体操	競技	全種別	佐賀市	SAGAサンライズパーク
		新体操	少年男子 少年女子		SAGAサンライズパーク
			トランポリン		男子 女子
9	バスケットボール		成年男子	唐津市	佐賀県立唐津工業高等学校体育館
			成年女子		唐津市相知天徳の丘運動公園 社会体育館
			少年男子		唐津市立浜玉中学校体育館
			少年女子		唐津市文化体育館 唐津市鎮西スポーツセンター体育館
10	レスリング		成年男子 少年男子 女子	嬉野市	嬉野市中央体育館(U-Spo)
11	セーリング		全種別	唐津市	佐賀県ヨットハーバー
12	ウェイトリフティング		成年男子 少年男子 女子	有田町	歴史と文化の森公園焔の博記念堂
13	ハンドボール		成年男子	神崎市	神埼中央公園体育館 佐賀県立神埼高等学校体育館
			成年女子		小城市
			少年男子	神崎市	神埼中央公園体育館
			少年男子 少年女子	神崎市	トヨタ紡織九州クレインアリーナ
			少年女子	吉野ヶ里町	吉野ヶ里町文化体育館(仮称)
14	自転車	トラック・レース	成年男子 少年男子 女子	武雄市	武雄競輪場
		ロード・レース	大分県日田市	オートポリス	
15	ソフトテニス		全種別	唐津市	松浦河畔公園庭球場 佐賀県立唐津東高等学校・唐津東中学校テニスコート
16	卓球		全種別	基山町	基山町総合体育館
17	軟式野球		成年男子	唐津市	唐津市野球場(SHOWAハンバーガースタジアム唐津)
				伊万里市	伊万里市国見台野球場
				武雄市	白岩球場
				鹿島市	鹿島市民球場
				嬉野市	嬉野総合運動公園(みゆき公園)みゆき球場
有田町	赤坂球場				
18	相撲		成年男子 少年男子	玄海町	玄海町社会体育館

19	馬術	成年男子 成年女子 少年	兵庫県三木市	三木ホースランドパーク
----	----	--------------------	--------	-------------

No.	競技名		種別	会場地	競技会場
20	フェンシング		全種別	佐賀市	SAGAサンライズパーク
21	柔道		成年男子 少年男子 女子	佐賀市	SAGAサンライズパーク
22	ソフトボール		成年男子	白石町	白石中央公園多目的広場(白石町総合運動場)
			成年女子	小城市	牛津総合公園多目的グラウンド
				江北町	江北町花山球場
			少年男子	みやき町	みやき町三根運動場
			少年女子	上峰町	上峰中央公園多目的広場
23	バドミントン		全種別	唐津市	太良町B&G海洋センター運動広場
24	弓道		全種別	唐津市	唐津市文化体育館
25	ライフル 射撃	センターファイ アピストル	成年男子	佐賀市	佐賀県警察学校
		50m	成年男子 成年女子	大分県由布市	大分県立庄内屋内競技場
		10m/エアピ ストル	全種別		湯布院スポーツセンター
		ビームライフル/ ビームピストル	少年男子 少年女子		
26	剣道		全種別	神埼市	神埼中央公園体育館
27	ラグビーフットボール		成年男子 少年男子 女子	佐賀市	SAGAサンライズパーク
28	スポーツクライミング		全種別	多久市	佐賀県立多久高等学校クライミング施設(仮称)
29	カヌー	スプリント	全種別	佐賀市	富士しゃくなげ湖ボート・カヌー競技施設(仮称)
		スラローム	成年男子 成年女子	鹿児島県湧水町	湧水町轟の瀬特設カヌー競技場
		ワイルドウォー ター			
30	アーチェリー		全種別	鹿島市	鹿島市陸上競技場
31	空手道		全種別	鳥栖市	鳥栖市民体育館
32	銃剣道		成年男子 少年男子	大町町	大町町立ひじり学園後期課程体育館
33	クレー射撃		成年	佐賀市	佐賀県射撃研修センター
34	なぎなた		成年女子 少年女子	嬉野市	嬉野市中央体育館(U-Spo)
35	ボウリング		全種別	佐賀市	ボウルアーガス
36	ゴルフ		成年男子	武雄市	若木ゴルフ倶楽部
			少年男子		武雄ゴルフ倶楽部
			女子		武雄・嬉野カントリークラブ
37	トライアスロン		成年男子 成年女子	唐津市	唐津市内特設コース

(37競技20市町)

【2. 公開競技】

No.	競技名	会場地	競技会場
1	綱引	唐津市	唐津市文化体育館
2	ゲートボール	鳥栖市	鳥栖市陸上競技場
3	武術太極拳	嬉野市	嬉野市中央体育館(U-Spo)
4	パワーリフティング	基山町	基山町総合体育館
5	グラウンド・ゴルフ	鹿島市	蟻尾山公園
6	バウンドテニス	佐賀市	SAGAサンライズパーク
7	エアロビック	武雄市	白岩体育館

(7競技7市町)

【3. 特別競技】

No.	競技名		会場地	競技会場
1	高等学校野球	硬式	佐賀市	みどりの森県営球場
		軟式	鳥栖市	鳥栖市民球場

【4. デモンストレーションスポーツ】

No.	競技名	会場地	競技会場
1	合気道	佐賀市	SAGAサンライズパーク
2	アジャタ	吉野ヶ里町	吉野ヶ里町文化体育館(仮称)
3	いごてだま	神崎市	神崎市内体育館
4	ウォーキング	大町町	大町町内
5	草スキー	基山町	基肆城跡(きざん公園)
6	クッブ	上峰町	上峰町体育センター
7	さわやかグラウンド・ゴルフ	鹿島市	鹿島市内
8	皿かぶり競走	有田町	有田町内
9	3B体操	江北町	佐賀のへそ・ふれあい交流センターネイブル
10	室内ペタンク	鳥栖市	鳥栖市民体育館
11	シャッフルボード	上峰町	上峰町体育センター
12	スカットボール	佐賀市	SAGAサンライズパーク
13	スケートボード	唐津市	ニタ子三丁目倉庫
14	スポGOMI	鳥栖市	鳥栖市内
15	スポーツウエルネス吹矢	武雄市	武雄市白岩体育館
16	スポーツチャンバラ	嬉野市	嬉野市中央体育館(U-Spo)
17	ソフトバレーボール	白石町	白石町立白石中学校体育館
18	滝登り	唐津市	唐津市七山鳴神の丘運動公園及び滝川川
19	チャレンジ・ザ・ゲーム	武雄市	武雄市立西川登小学校体育館
20	パークゴルフ	佐賀市	神水川パークゴルフ場
21	パッゴー	鹿島市	鹿島市内体育館
22	ビリヤード	佐賀市	ビリヤード セッション
23	フライングディスク	神崎市	日の隈公園グラウンド
24	マリンスポーツ	太良町	太良町B&G海洋センター艇庫太良町人工海浜公園海水浴場
25	ユニカール	唐津市	唐津市文化体育館
26	ラージボール卓球	鳥栖市	鳥栖市民体育館
27	ラダーゲッター	佐賀市	SAGAサンライズパーク
28	ロープ・ジャンプ・X	佐賀市	SAGAサンライズパーク

(28競技15市町)

第80回国民スポーツ大会(青森県)実施競技一覧

令和2年6月1日現在

式典	会場地	式典会場
総合開・閉会式	青森市	カクヒログループアスレチックスタジアム

○本大会

1.正式競技

競技名		種別	会場地	競技会場
陸上競技		全種別	青森市	カクヒログループアスレチックスタジアム
水泳	競泳	全種別	青森市	(仮称)新青森県総合運動公園水泳場
	飛込	全種別	宮城県利府町	セントラルスポーツ宮城G21プール
	水球	少年男子 女子	青森市	(仮称)新青森県総合運動公園水泳場
	アーティスティックスイミング*	少年女子		
	オープンウォータースイミング*	全種別	青森市	サンセットビーチあさむし特設会場
サッカー	成年女子	十和田市	十和田市高森山総合運動公園球技場	
			十和田市若葉球技場	
		五戸町	五戸町ひばり野公園陸上競技場	
		少年男子	八戸市	プライフーズスタジアム
				八戸市東運動公園陸上競技場
				八戸市南郷陸上競技場
	少年女子	五戸町	五戸町ひばり野公園陸上競技場	
			五戸町ひばり野公園サッカー場	
	南部町	ふるさと運動公園陸上競技場		
	テニス		全種別	青森市
ボート		全種別	むつ市	むつ市大湊特設ボート場
ホッケー		全種別	三沢市	青森県立三沢高等学校グラウンド
			六ヶ所村	六ヶ所村内子内農山村広場多目的広場
バレーボール	6人制	成年男子	青森市	マエダアリーナ
		成年女子	五所川原市	五所川原市民体育館
		少年男子	青森市	マエダアリーナ
		少年女子	つがる市	(仮称)つがる市総合体育館
	ビーチバレーボール	少年男子	青森市	サンセットビーチあさむし特設会場
		少年女子		

競技		種別	市町村	会場	
体操	競技	全種別	弘前市	青森県武道館	主競技場
	新体操	少年男子 少年女子			
	トランポリン	全種別			
バスケットボール		成年男子	八戸市	八戸市東体育館	
		成年女子	むつ市	むつ市総合アリーナ	
		少年男子	十和田市	十和田市総合体育センター	
		少年女子	三沢市	三沢市国際交流スポーツセンター	
レスリング		全種別	八戸市	八戸市東体育館	
セーリング		全種別	むつ市	大平マリーナ	
ウエイトリフティング		全種別	平川市	ひらかわドリームアリーナ	
ハンドボール		成年男子	青森市	盛運輸アリーナ	
		成年女子	野辺地町	(仮称)野辺地町総合体育館	
		少年男子 少年女子			
自転車	トラック・レース	全種別	八戸市	八戸自転車競技場	
	ロード・レース	全種別	階上町	階上町特設ロードレースコース	
ソフトテニス		全種別	青森市	新青森県総合運動公園テニスコート	
卓球		全種別	青森市	マエダアリーナ	
軟式野球		成年男子	青森市	青森県営野球場	
				ダイシンベースボールスタジアム	
			三沢市	三沢市民運動広場野球場	
			六戸町	六戸町総合運動公園野球場	
			六ヶ所村	六ヶ所村大石総合運動公園第三球場	
			おいらせ町	おいらせ町下田公園野球場	
相撲		全種別	十和田市	(仮称)十和田市屋内グラウンド	
馬術	馬場馬術	全種別	山梨県北杜市	山梨県馬術競技場	
	障害馬術				
フェンシング		全種別	むつ市	むつ市総合アリーナ	
柔道		全種別	つがる市	(仮称)つがる市総合体育館	
ソフトボール		成年男子	八戸市	八戸市長根公園野球場	
				八戸市東運動公園野球場	
		成年女子	弘前市	弘前市運動公園多目的運動広場	
				弘前市運動公園野球場	

競技		種別	市町村	会場	
ソフトボール		少年男子	東北町	東北町南総合運動公園	野球場
					ソフトボール場
		少年女子	三沢市	三沢市南山屋外運動場	
バドミントン		全種別	黒石市	スポカルイン黒石	
弓道	近的	全種別	弘前市	青森県武道館	主競技場
	遠的	全種別			遠的弓道場
ライフル射撃	CP	成年男子	青森市	青森県警察学校射撃場	
	50m	全種別	弘前市	岩木青少年スポーツセンター特設ライフル射撃場	
	10m・AP				
	BP・BR	全種別	岩木青少年スポーツセンター体育館		
剣道		全種別	七戸町	(仮称)七戸町新体育館	
ラグビーフットボール	7人制	成年男子 女子	八戸市	プライフーズスタジアム	
	15人制	少年男子	青森市	大進建設スポーツ広場ラグビー場	
				大進建設スポーツ広場多目的グラウンド	
スポーツクライミング	リード	全種別	青森市	盛運輸アリーナ	
	ボルダリング				
カヌー	スプリント	全種別	西目屋村	津軽白神湖特設カヌー競技場	
	スラローム	全種別		目屋溪谷岩木川カヌー競技場	
	ワイルドウォーター				
アーチェリー		全種別	青森市	新青森県総合運動公園投てき・アーチェリー場	
空手道		全種別	弘前市	青森県武道館	主競技場
銃剣道		全種別	三沢市	三沢市国際交流スポーツセンター	
クレー射撃	トラップ	全種別	弘前市	弘前クレー射撃場	
	スキート				
なぎなた		全種別	藤崎町	スポーツプラザ藤崎	
ボウリング		全種別	八戸市	ゆりの木ボウル	
ゴルフ		成年男子	平内町	夏泊ゴルフリンクス	
		少年男子	青森市	東奥カントリークラブ	
		女子	青森市	青森カントリー倶楽部	
トライアスロン		全種別	青森市	青森市特設トライアスロン会場	

2.公開競技

競技	種別	市町村	会場
綱引	全種別	平内町	平内町立体育館
ゲートボール	全種別	十和田市	十和田市若葉球技場
武術太極拳	全種別	三沢市	三沢市国際交流スポーツセンター
パワーリフティング	全種別	藤崎町	スポーツプラザ藤崎
グラウンド・ゴルフ	全種別	平川市	平川市陸上競技場
			平賀多目的広場
			ひらかドーム
バウンドテニス	全種別	十和田市	十和田市総合体育センター
エアロビック	全種別	平川市	ひらかわドリームアリーナ

3.特別競技

競技		種別	市町村	会場
高等学校野球	硬式	—	弘前市	弘前市運動公園野球場
	軟式	—		

○冬季大会

競技		種別	市町村	会場
スキー	(ジャイアントスラローム)	全種別	大鰐町	大鰐スキー場
	(クロスカントリー)			
	(リレー)			
	(スペシャルジャンプ)	全種別	秋田県鹿角市	花輪スキー場
	(コンバインド)			
スケート	(スピードスケート)	全種別	八戸市	YSアリーナ八戸
	(フィギュア)	全種別	三沢市	三沢アイスアリーナ
	(ショートトラック)			
アイスホッケー		全種別	八戸市	テクノルアイスパーク八戸
				フラットアリーナ
		全種別	南部町	ふくちアイスアリーナ